



いさお

# もんま功

<経歴>

- ・昭和30年 7月 大東町大原生まれ
- ・昭和53年 3月 神奈川大学卒業
- ・昭和53年 4月 旧大東町に採用
- ・平成28年 3月 一関市を退職
- ・平成29年10月 一関市議当選
- ・令和3年10月 広野広域委員長、一関地区広域行政組合議会議長

<現在>

- 一関市議 / 一関市・大東大涌水かけ祭り保存会副会長
- 大原まちづくりの会副会長 / 大原振興会理事
- 老農自治会会長

## 未来への責任、次世代への継承

人口減少、少子高齢化が一関市の大きな課題となっています。生まれ育ったまちを守り、よりよい形で次世代に繋げるようにすること。

そして「子どもたちはのびのび元気に育ち、若者が安心して子育てできるまち。高齢者は健康で長生きできるまち。」を目標に頑張っています。

### もんま功の主張

#### 物価・エネルギー高騰対策の継続・拡充

物価高騰により、家計の負担が増加し、「ゆとりがなくなってきた」と感じる市民が増えています。特に低所得者層や中小企業や個人事業主に深刻な影響を及ぼしています。今後も生活支援、経済支援が必要です。

#### 農林業の振興、地場産業の育成・発展

地場産業である農林業の振興や地元で密着した地場産業の育成・発展による安定的な地域振興を目指します。

#### 若者の定住、働く場の確保

若者が地元で留まってもらうには、若者たち

が望む働く場の確保が重要です。ICT（情報通信技術）を活かして働く場の確保を目指します。

#### 安心して子育てできる環境の整備

出産から乳幼児、幼稚園・保育園、小中学校の児童・生徒、高校生まで、子どもの成長に合わせた子育て環境の整備を目指します。

#### 教育環境の充実・整備

IT（情報技術）を活用した、児童生徒がグローバル（国際舞台）とイノベーション（革新的創造）の扉を開けることができるような教育環境の整備充実を目指します。

#### 高齢者が安心して暮らせるまちづくり

高齢化が急速に進む中、高齢者が生き生きと尊敬を持ちながら暮らせるまちを目指します。

#### 国内だけでなく海外の人からも選ばれるまちづくり

一関市の年少・生産年齢人口は減少を続けています。先進国はどこも労働力が足りてなく、外国人を呼び込もうとしています。一関市も国内はもとより、海外の人からも選ばれるまちづくりを進める必要があります。

#### ILC（国際リニアコライダー）の誘致促進

誘致により未来の国際学術研究都市の形成を目指します。

※議員の政策、プロフィール等は令和7年9月時点で作成したものです。